

がん検診を受診する際に 知っておいてほしいこと



長野市で実施している、胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん検診は、そのがんになる人も多く、またそのがんによる死亡も多いため、死亡率減少効果があると科学的に証明された検診として実施しています。

がん検診の最大のメリットとして、早期発見・早期治療による救命の効果がある反面、デメリットもあります。例えば、検診でがんが100%見つかるわけではないこと、がんがなくても検診結果が「陽性」となる場合もあることなどです。しかし、デメリットよりもメリットの方が明らかに大きいと判断された検診を実施していますので、デメリットも含めてご理解いただき、検診をご利用いただきたいと思います。

もし要精密検査となったら…



**必ず医療機関を受診し、
精密検査を受けましょう!!**

市の検診は、あくまでもスクリーニング（ふるい分け）ですから、確定診断ではありません。精密検査となった場合は、遅くとも2～3カ月以内には検査を受けましょう。

定期検診のすすめ



がんの早期発見には、検診を継続して受けることが大切です。

また、検診結果に関わらず、気になる症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

精密検査はどんな検査をするの？

- 胃：胃内視鏡検査など
- 大腸：大腸内視鏡検査など
- 肺：CT検査や気管支鏡検査
- 乳：マンモグラフィや超音波検査
穿刺吸引細胞診や針生検など
- 子宮：組織診や細胞診
HPV検査など



精密検査の結果について

精密検査の結果は、ご本人に説明されるとともに、医療機関から市に報告されます。

これらの情報は適切な方法で処理し、がん対策に活用しています。

